

2024年度上半期 株主・投資家との対話の実施状況について

2024年11月20日
東日本旅客鉄道株式会社

※下線:前回開示からの主な更新内容

実施内容

機関投資家・アナリスト向け

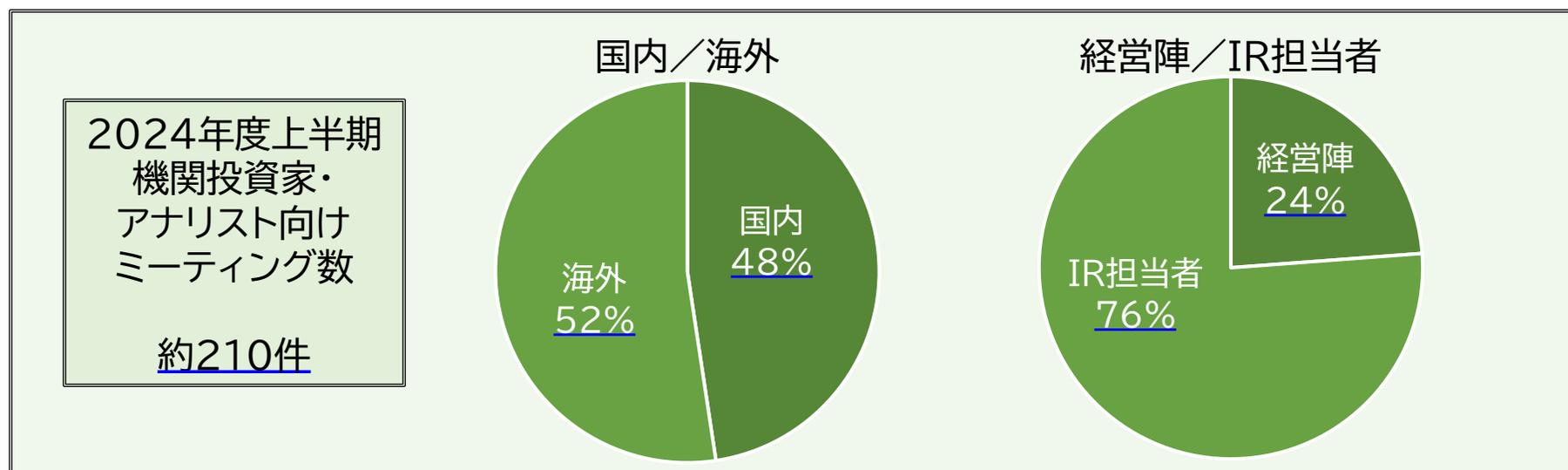
決算説明会 1on1ミーティング(海外投資家訪問、国内投資家訪問、個別取材)

個人向け

Web説明会 施設見学会 意見交換会

対応者

代表取締役社長・グループ経営戦略本部長・常務執行役員・執行役員・ユニットリーダー・マネージャー



株主・投資家の主な関心事項

モビリティ

- ・ 運賃・料金制度の見直しと運賃改定の可能性
- ・ インバウンド需要の獲得を含めた今後の増収施策
- ・ インフレによるコストの増加見通しと、鉄道事業の中期的な利益水準
- ・ ご利用の少ない線区に関する議論の状況

生活ソリューション

- ・ Beyond the Borderで掲げた、2033年度に営業収益・利益を倍増させるための戦略
- ・ 不動産事業における回转型ビジネスの見通し
- ・ TAKANAWA GATEWAY CITYのリーシング状況と営業収益・利益見通し
- ・ Suica生活圏を拡大させるための具体策

資本政策

- ・ 今後の設備投資の見通し
- ・ 金利上昇の影響と今後の有利子負債の水準
- ・ 株主還元方針と今後の見通し
- ・ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

ESG

- ・ 「ゼロカーボン・チャレンジ2050」達成に向けたロードマップ
- ・ 地方創生の取り組み状況と資本効率との両立
- ・ 役員報酬とESGに関する取り組みの連動

※ 決算説明会などでの「主なQ&A」は当社HPに掲載 <https://www.jreast.co.jp/investor/guide/>

経営陣や取締役会へのフィードバック

- ・ 取締役会に対しては、定期的に担当役員から対話の状況をフィードバック
- ・ 代表取締役社長をはじめとした担当役員には、対話担当部門から関心事項を随時報告
- ・ 各業務部門に対しては、社内会議において担当役員から概況を説明

これまでの対話やフィードバックを踏まえて取り入れた事項

- ・ JR東日本グループレポートにおける価値創造モデルと財務・投資戦略の関連明示、株主・投資家向けメッセージの明確化、KPIの一部見直し、図表によるわかりやすさの向上など
- ・ 国連グローバル・コンパクトへの署名・加入
- ・ 「TNFD* Adopter」に鉄道事業者として初めて申請・登録 *:自然関連財務情報開示タスクフォース
- ・ Scope3を含む温室効果ガス排出量の開示や、新幹線の区間別CO₂排出量の算定・開示の開始

2024年度 株主・投資家との対話拡充に向けて

- ・ 機関投資家・アナリスト向け
 - 第2四半期及び期末決算説明会は、代表取締役社長が出席
 - 第1四半期及び第3四半期決算説明会は、グループ経営戦略本部長が出席
- ・ 個人向け
 - Web説明会や施設見学会等の実施回数増によるさらなる対話機会の充実化